

米沢牛の恩人

チャールズ・ヘンリー・ダラス
(1842生～1894没)

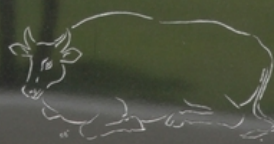


CHARLES·HENRY·DALLAS

間もなくダラスの伝手により、添川村（現在の飯豊町添川）の生産者は、横浜の牛肉問屋と契約を取付、米沢産の牛を販売するに至った。そこから「米沢牛」の歴史が始まった。このダラスこそが、米沢の牛肉を文明開化の横浜で紹介してくれた「米沢牛の恩人」なのである。

明治八年（一八七五）三月、興業館の任期が満了し、横浜の外国人居留地に帰る折り、米沢での滞在中に食した米沢産の牛肉が非常に美味だったことから、居留地の仲間に「米沢のおみやげ」として、生きた牛を連れて帰り御馳走した所、その美味しさが評判となる。これが米沢産の牛肉が世に出た最初の出来事となった。またダラスお抱えのコックである萬吉には、米沢で最初の牛肉店「牛萬」を開店させた。

チャールズ・ヘンリー・ダラスは、天保十三年（一八四二）英国ロンドンに生まれる。万延元年（一八六〇）貿易商として中国に渡り、文久三年（一八六三）来日す。明治三年（一八七〇）五月、東京大学の前身である大学南校に語学教師として奉職、明治四年（一八七一）十月には、旧藩校興業館洋学舎に洋学教師として招聘される。



作品番号：30400197

作品タイトル：チャールズ・ヘンリー・ダラスのレリーフ（米沢牛を紹介）

作家：北川 雅弘

キャプション：

コレクション：OPO

ソース：

撮影地：山形県 米沢市

撮影年月日：08.08.09

学術名：

クレジット表記：(c)OPO / Artefactory

モデルリリース：なし

プロパティリリース：なし

ピクセル数：2975px × 1983px

印刷サイズ：21.6cm × 14.4cm

データサイズ：4MByte

ファイル形式：JPEG